



# デイサービスセンター朱鷺の苑幸町

## News Letter

仕事としての介護

Vor. 127 2011.9.30

良いか？悪いか？・・・私の名刺には個人携帯電話の番号を入れています。「今日、デイお休みします」って夜中にかかってくる事もありました。何故この時間に電話なのかな・・・？ これもケースとして記録できますね。中には夜7時過ぎに駐在所から「\*\*さんをご存知ですか？」どうも迷子になったらしく、持っていた名刺の番号からセンターへ電話しても不通なので、携帯電話にかけたようです。大切なのは関係するご利用者の安全安否。良いか悪いかは別にして、その方々が「何か？」で困った時に周囲の人たちも含め何か連絡が取れる方策があることが重要と感じます。



# 安堵

「上を見て働き・下をみて暮らす」故：渡辺美智雄氏（衆議院議員）の言葉です。私にとっては下なんて無いので暮らしは現状で満足しなくてはいけないのだと感じています。ただ、「上を見て働く」ことは常に意識して、ハングリーに生きる指針にしています。誰が上の人？ 誰だって自分より上だと思っています。妻にも子供にも習うことはありますし、法人理事長なんて一番良きお手本です。加盟する全国老人福祉施設協議会の会長や役員方々の「制度を良き方向にしよう」とするお働きも、私にとっては、見習わなければならない「上」です。末端の介護職として常に上を見て「今、何を」「これから何を」しなくてはいけないのかを真剣に考えながら24時間働く必要があると感じています。



# 介護って何？ 介護は24時間365日

**介護従事者職員が休むことを否定するものではありません。労働基準法に正しく沿って働く時間は守りましょう。ただ、介護は「24時間365日」休むことなく常に対象者が「動いている」事を認識していただきたい。**

介護を受ける対象者のお年寄りとその介護者の中には24時間365日「休み」が無い方もいらっしゃると思います。ご利用者の家族様が一度祝日に行政へ電話した際「連休中でございます」と守衛さん。電話が繋がらない役所もあったそうです。警察や消防が「日曜でございますので・・・」と言うのでしょうか。「親戚に急な不幸があり、母親をショートで預かってほしい」、遠方の娘さんから「独居の父親と連絡が取れないけど、そちらに行っていないませんか？」安全と安否の確認を求めらるご家族はどうしたら良いのかわからないのです。私どもの法人は必ず電話が繋がるようなシステムを構築しております。ご利用者（ご家族）にとっては「とにかく連絡がつく」その安心感が重要ではないでしょうか？ 居宅支援事業所や地域包括支援センター、もちろん行政の介護関係窓口も介護者になんらかの安心感を与える24時間365日つながる「ホットライン」を持つべきと考えます。それがメールシステムを使ったものでも結構です。「サービス」という文言を法律でうたうのなら、行政が率先してこのあたりからの改革を行わない限り、いつまでたっても介護は真にサービスを謳えないと感じています。目指すは一流の都市型ホテル・一流の和倉温泉加賀屋さんです。100%要望に答えられずとも、85%を叶え、残り15%の努力をすることで一流と呼ばれるのでしょうか！ いつも上をみて何を変化させなければならないか考えるように。